

日本の大学とは比べようもない程多いリーディングの宿題、英語での授業などももちろんつらかったですが、一番精神的につらかったことはスイートメイトとのコミュニケーションです。僕は六人のアメリカ人と一緒に寮で生活しています。日本では留学生用の寮に申し込んでいたのに、いざ寮に入ってみたら皆カリフォルニア出身でしかも大人数が一緒のリビングを共有するスイートルームに住むことになりました。当初の希望とは全く異なっていたので、とても困惑しました。一口にネイティブのアメリカ人といっても、バックグラウンドはアイルランド・ドイツ・イギリス・エルサルバドル・パレスチナ・メキシコ系と多彩であることは、後で分かったことです。六人は去年から同じ部屋に住んでいて、そこに自分が突然放り込まれたものですから、コミュニケーションにかなり苦戦しました。問題は英語力の無さなのか、価値観の違いなのか、ただ単に新入りだからか、ノリの違いかと悩みました。今では英語の聞き取り能力のかすかな向上もあるでしょうが、当初の予想よりはるかに仲良くなれています。

彼らも自分と同じ人間で、言語の壁はもちろんありますが、全ては自分の積極性次第なのだと分かりました。自分から絶えず心を開いていけば、あちらから自分の部屋に入ってきたり、ふざけてプロレスしたり、日本語を教えたり(女の子の口説き方など)、何気ない会話をしたり、一緒に学食に食べに行ったり。当初は自分のふがいなさに絶望して勉強にも集中できず部屋を変えようとも思いましたが、今では自分にとってアメリカでの生活を十二分に体験する願ってもない最高の環境であると感じるようになりました。当初の自分の希望の部屋に入れなかったことにむしろ感謝しています。

つらかったこととして紹介したスイートメイトとの関係ですが、これは同時に一番留学して嬉しかったことでもあります。

今は冬休みで寮が三週間閉鎖されるので、旅に出ています。アメリカに帰る家のない留学生数人の友達とカリフォルニア内の旅に出たり、アメリカ人の友達の家に泊まった



スイートメイトと (右端が TAKEO)

り、日本の友人に会いにニューヨークに行ったりと、勉強からは一足離れてまた違った角度からアメリカでの留学生活を送れたらと思います。バイリンガル(といってもタイ語ですが)になれなかった BABA TAKEO。これからも多いにアメリカで苦しみながら楽しみます。

ご意見がございましたら、
baba_takeo@hotmail.com へどうぞ。
近況は <http://blog.drecom.jp/nobitakeo/> にて
ブログを更新中です。

馬場 健夫

ばば たけお

早稲田大学政治経済学部政治学科 3 年在学中

現在、University of California, Santa Barbara 校へと一年間の交換留学中

編集長から一言

早稲田大学の留学生のリレー・エッセイ。UCSB の馬場君の登場です。

UCSB に決まったと聞いて、思わず「大学にビーチがある、パーティ大学」と口にしてしまいました。そして、馬場君「ラッキー！」。少し心配でしたが、何とかやっているようです。

このエッセイは、昨年の松にかかれたもので、編集の都合で掲載が遅くなりました。先日、「セメスターが終わり、初めての成績が出ました。」と報告がありました。立派な成績が取れたようです。

一度、私のサンタバーバラの友人の家で会い、大分参っていました。このエッセイにもあるように、勉強よりもコミュニケーションで苦しんだことが、彼にとって大きな収穫であると信じています。

元海外子女の TAKEO の今後の活躍や失敗を楽しみましょう。